



VOLVO CAR JAPAN

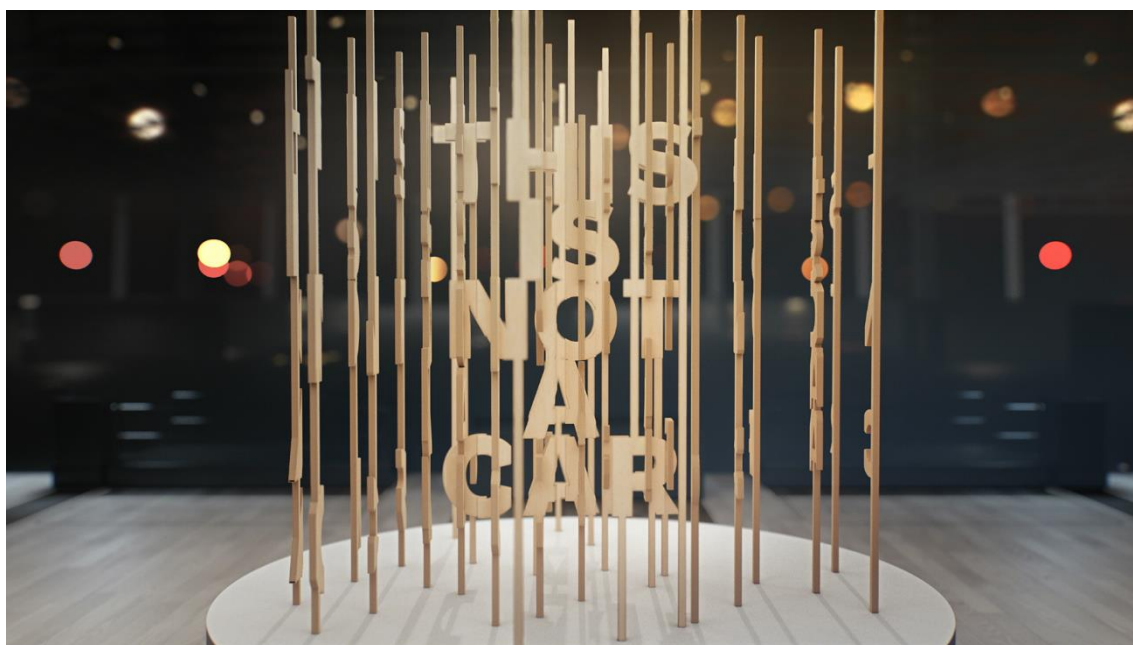
Press Release

2018年11月21日

ボルボ・カーズ、Automobility LAで 車両のないブース展示を表明

本プレスリリースは、11月21日(6:00AM CET)スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

ボルボ・カーズは2018年11月26日から29日にロサンゼルスで開催される『Automobility LA (オートモビリティLA)』で、世界で初めて、ブースに1台の車両も展示せずに出展します。



ボルボは代わりに、自社のビジョンを示し、自動車の新しい可能性を再定義します。

モーターショーが始まって以来、主役は常に自動車であり、常にステージの中心でターンテーブルの上に乗せられているか、あるいはシルクのヴェールに覆われていました。しかし、自動車は変化し、自動車業界も変化し、車を使う人々の期待も変化しています。オートモビリティ LA でのボルボは、こうした変化を反映したものとなります。

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)

現在、消費者が自動車のブランドをどのように体験するかは、クロームが輝く外観やレザー素材の内装、あるいはエンジンの最高出力よりも重要です。ボルボのブースでは、自動車が展示されているはずのステージの中央を見て、来場者の皆さんはきっと驚かれることでしょう。そこにはこう書かれています。『これは自動車ではありません』。

「主催者はこのショーを『オートモビリティ LA』と呼ぶことで自動車業界における変革を、すでに認識していることでしょう。」と、ボルボ・カーズ企業戦略担当上級副社長のマーテン・レーヴェンスタムは語りました。「私たちは主催者のこの名前の変更に対する思いを理解しており、自動車の未来について対話を始めたいと考えています。ですから、コンセプトカーを持ってくる代わりに自動車のコンセプトについてお話しします。今年、ボルボが『カー・オブ・ザ・ショー』を受賞することはないでしょうが、それでも問題ありません。なぜなら、もはやこのショーはモーターショーではないからです。」

このパワフルな主張と共に、ボルボ・カーズは、「イン・カー・デリバリー」、「カー・シェアリング」、コンセプトカー Volvo 360c concept で示した「自動運転」のビジョン、およびボルボのサブスクリプション・サービスである「Care by Volvo」など、さまざまなコネクティビティ・サービスに関するインタラクティブな展示物を多く展示します。

「私たちの業界は変化しています。私たちは単に自動車を製造して販売しているのではなく、一人一人のお客様に、持続可能で、安全な、移動の自由を提供しなければなりません。私たちは、お客様が望めばいつでもどこでも自動車にアクセスができるような新しい魅力的なサービスを提供できるようにします。」と、ボルボ・カー・グループ代表取締役社長兼 CEO のホーカン・サムエルソンは語りました。

ボルボ・カーズは、戦略的パートナーシップの力を信じており、Amazon、Google、Nvidia のようなテクノロジー企業や、Luminar、Zenuity などのベンチャー企業と共に、新しいタイプの革新的なパートナーシップを推進しています。

ボルボは、将来のための新たな事業目的として、一人一人のために、持続可能で、安全な移動の自由を提供することを定めています。ボルボは今後 2020 年代中盤を目安に、1 年間に販売する車両の半分以上を完全な電気自動車に、また三分の一を自動運転車にし、500 万人以上の消費者とのダイレクトな関係を確立します。

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)
